



Title	岸総理大臣第1次訪米関係一件 会談関係(7)ハマ ーショルド国連事務総長との会談 外務省外交史料館レ ファレンス番号: nd)
Author(s)	-
Citation	平成30年度外交記録公開 公開日: 2018年12月19日 外務 省外交史料館管理番号: A'.1.5.0.4-3 CD・DVD番号: H30 -001
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/44205
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

(7) ハマ・シンヨリド 國連事務局長との会談

了

第七七六号公信写（昭和三ニセ一六付）

藤山外務大臣あて 在ニューヨーク国連松平大使発

岸總理とハマシヨルド国連事務總長との会談に

関する件

實電第三八八号をもつて御訓令のあつた本年六月二十五日の岸總理の国連訪問の際における總理とハマシヨルド国連事務總長との会談の要旨左記のとおり御報告する。

記

一 總理とハマシヨルド事務總長の会談は終始極めて友好的な雰囲気のうちに行われたが、事務總長より、總理の国連御訪問を特に歓迎し、国連に対する總理の関心に対し深甚なる謝意を表明する旨挨拶し、日本が国連加盟後の今日国連内で演ずべき役割につき非常な希望と期待を抱くものなる旨述べた。

これに対し總理は、日本は国連憲章の主義、原則をその外交の基調とする国連中心外交を標榜しおり、今後とも万全の努力をもつて国連の目的達成に貢献する積りである旨述べられると

A1. 5. 24-3

8

14

巨下Aの...
手...
お...
...
...

水島

ともに、ハマシ・ルドの人となりとその今日までの国際平和に
対する貢献に対し賞讃の辞を呈せられた。

ニ 総理より原水爆実験禁止問題に触れたところ、事務総長は
本件については、国連内でもその目的は同じくしてもこれを違
成する具体的方法につき意見が分れており、仲々思うようには
行かないが、この問題については無理を避け気永に忍耐強くや
る他はない、その間における日本政府の御努力に対しては自分
としても大いにこれを多と述べていると述べた。

ニ 総理より、先般の東南アジア訪問後の感想について述べられ、
未開発地域の生活水準の向上なくしては世界平和の達成も容易
ならず、日本としても出来得る限り同地域の生活水準向上に貢
献したいと述べられたのに対し、事務総長は、この点について
は総理と全く同感にして、国連としても技術援助計画等により
未開発地域の福祉と安寧のため貢献せんと努力しているが、如
何せん資金不足のため難渋しているところ、日本としても前記
計画等につき一段と寄与されるよう御努力をお願いしたいと述
べた。

3

四 総理より、国連内における日本人職員の数は今日までのところ、極めて少い旨を指摘され、事務総長の御高配により日本人職員を今少し増加する事につき、御援助をお願いいたしましたしと述べられたのに対し、事務総長は、もち論自分としても出来得る限り努力いたしたく、主義の問題としては日本人職員数を増加すべきであることに同感であると述べた。